

首都圏中央連絡自動車道（大栄JCT～松尾横芝IC）連絡調整会議（第1回） 議事概要

1. 日時

令和5年7月5日（水）10時から11時

2. 出席者

国土交通省 関東地方整備局 千葉国道事務所長 藤井 和久

千葉県 県土整備部 道路計画課長 横田 彰洋

東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所長 笹原 壮雄

3. 議事

（1）現在の進捗状況について

（2）課題と対応について

（3）今後の開通見込みについて

4. 議事概要

(事業者より説明)

○現在の進捗状況、課題と対応

- ・用地取得率は、現在約99%であり、用地残件については任意解決に至らなかったため、用地取得に向け手続き中。
- ・工事は、用地未取得箇所を除く全区間で着手し、各自治体の協力のもと、鋭意実施中。
- ・芝山トンネルは、砂質土で形成された地質構造であり、掘削開始後、天端部からの抜け落ち等が発生しており、より強度が低くなる区間の掘削における安全対策を検討するために、有識者による芝山トンネル技術検討会を開催し、現計画の補助工法の検証、追加の補助工法の必要性等を確認。
- ・掘削の施工に先立ち地質調査を実施したところ、環境基準を超える重金属が検出されたため工事を一部中止しており、今後土壌汚染対策法の手続きを踏まえ工事を再開する予定。
- ・機能補償道路工事（跨道橋）において入札不調が発生し、工事着手に至っていない状況。

○今後の開通見込み

- ・用地未取得箇所、芝山トンネルの掘削、重金属の対応及び機能補償道路工事（跨道橋）の入札不調など工事進捗に影響が出ていることを踏まえ、現時点において全体事業工程を正確に見通すことは困難。
- ・そのため、開通見込みを現在の令和6年度から見直し、新たな開通見込みについては、工事の状況を踏まえて改めて公表する。
- ・引き続き、各自治体の協力のもと、事業を進めるとともに、開通見込みに関わる新たな課題等が発生した場合、速やかに情報共有を図る。

(千葉県からの意見)

- ・圏央道沿線市町で構成する「建設促進協議会」及び県内の経済団体等で構成する「圏央道建設促進県民会議」は、圏央道の一日も早い全線開通を望んでいる。
- ・工事を安全に進める必要があるなど、やむを得ない事情は理解するものの、令和6年度の大栄JCT～松尾横芝IC間の開通が困難になったことは非常に残念である。
- ・引き続き、県も沿線市町とともに最大限協力するため、一日も早い開通を目指し事業を推進してほしい。